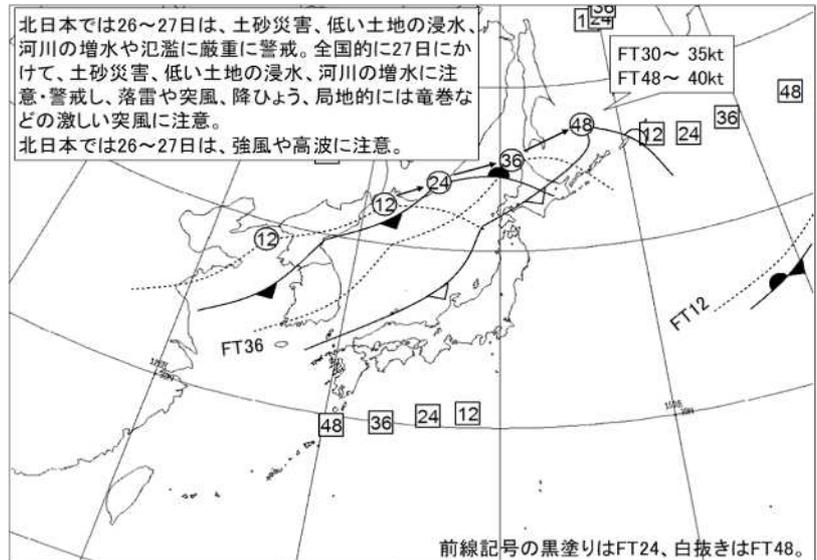


1. 実況上の着目点

- ① 300hPa 9720m以上の上空の高気圧が本州付近にほとんど停滞。地上では高気圧が日本の南をゆっくり西へ移動。西日本～東北地方では晴れて猛暑日となっている所があるが、所々で激しい雨や非常に激しい雨を解析、雷を検知。
- ② 500hPa 5820m付近で-9℃以下の寒気を伴うトラフに対応して、低気圧が黄海付近を東北東進し、前線が日本海にのびている。
- ③ 台湾付近を上層寒冷低気圧 (UCL) がゆっくり西進。①の高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響もあり、南西諸島周辺では激しい雨を解析。雷を検知。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の上空の高気圧は26日は日本の東に中心を移し、地上の高気圧は日本の南を西へ移動して27日夜には東シナ海に中心を移す。西日本～東北地方では27日にかけて、高気圧圏内で晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。地上の昇温と高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。西～北日本では27日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 25日夜までに、1項②のトラフに対応して、前線上の日本海に低気圧が新たに発生して東北東進し、温暖前線が26日は北海道地方を通過。27日は、500hPa 5700m付近で-12℃以下の寒気を伴うトラフが北海道付近を通過し、地上の低気圧は宗谷海峡付近を通過して千島近海へ進んで閉塞し、寒冷前線が北～西日本を南下。低気圧や前線に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。低気圧や前線の周辺では、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなる所がある。北日本では26～27日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒、西～東日本では27日は注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。北日本では26～27日は、強風や高波に注意。
- ③ 1項③のUCLは、27日にかけてゆっくり華南付近に進む。上空寒気と2項①の高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響で、南西諸島では27日にかけて、大気の状態が不安定となる所がある。落雷や突風、短時間強雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(18時から24時間)：北海道150、東海・九州北部100mm。

② 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。

③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。